

原材料等諸経費負担の増加により採算悪化

米の関税政策により輸出関連業界への影響を懸念

～景況 DI 値は、前年同月比13.1ポイント上昇のマイナス13.2～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 3月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラス5.2、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス5.3。非製造業では、前月比52.6ポイント上昇のプラス68.4、前年同月比26.3ポイント上昇のプラス10.5。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比同水準のプラス10.5、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス26.3。非製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス57.9。

収益状況 製造業では、DI 値前月比20.9ポイント低下のマイナス31.5、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス42.1。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のプラス21.1、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス5.3。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比5.2ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス10.5。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比20.9ポイント上昇のマイナス10.6。非製造業では、前月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0。

景況 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のマイナス26.3、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス31.6。非製造業では、前月比21.1ポイント上昇のプラス21.1、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス5.3。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比13.2ポイント上昇のマイナス2.6、前年同月比13.1ポイント上昇のマイナス13.2となった。製造業では、一部業種で年度末の公共事業案件の増加により前月比で売上高の増加が見受けられたものの、業況を押し上げるまでには至らなかった。依然として高止まりする原材料、光熱費等諸経費に対する価格転嫁は充分とは言えず、引き続き状況は厳しい。非製造業では、月の中旬は天候に恵まれず人流が停滞していたものの、下旬には好天に加え春休みシーズンの中で鳥取県立美術館のオープンイベント等も開催され、売上や収益状況に復調の兆しが見受けられた。県内景況は、ほとんどの業種で原材料等仕入れ価格の高騰、エネルギー関連のコスト等諸経費負担増加の影響により需要の停滞、採算の悪化を招いている。また、米大統領の関税政策の影響により、食料品、衣料品、鉄鋼、自動車部品関連など海外輸出案件のある業界に大打撃が懸念されるなど、先行きの見通しは厳しい。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

3月の全国倒産は、件数875件で、（前年同月870件、0.6%増）と35カ月連続で前年を上回り、戦後最長を更新し続けている。3月としては、3年連続で800件台となった。負債総額は973億8600万円（前年同月1320億500万円、26.2%減）と、5カ月ぶりに前年を下回った。負債『1億円以上』の倒産が減少したこともあり、7カ月ぶりに1000億円を下回った。

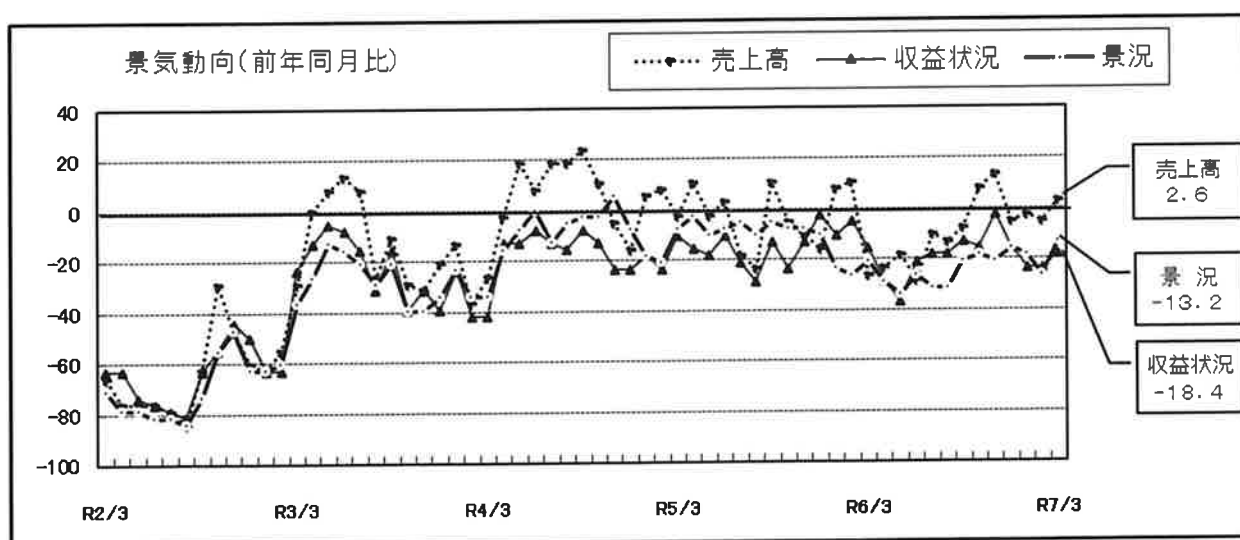
一方、3月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月0件）、負債総額は4200万円（前月0円）となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報2月分」）

鳥取県の2月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.35倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.24倍）で、前月と同水準。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.35倍、米子所1.48倍、倉吉所1.56倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.69倍（季節調整値）で、前月より0.11ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比4.6%減少し、有効求人数も2.1%減少となった。産業別に前年同月で比較すると、運輸業・郵便業（14.8%）、公務・その他（4.4%）、卸売業・小売業（4.3%）、建設業（0.4%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比18.6%減少、有効求職者数は前年同月比6.0%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.38倍で、前年同月比で0.04ポイント上昇、新規求人数は前年同月に比べ2.9%減少した。



3月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	21.1%	5.2 10.5	68.4%	0.0%	68.4 52.6	47.4%	10.5%	36.9 31.6
(2) 在庫数量	0.0%	21.1%	-21.1 -26.4	25.0%	0.0%	25.0 16.7	9.7%	12.9%	-3.2 -9.6
(3) 販売価格	15.8%	5.3%	10.5 0.0	15.8%	5.3%	10.5 5.2	15.8%	5.3%	10.5 2.6
(4) 取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 -2.6
(5) 収益状況	5.3%	36.8%	-31.5 -20.9	31.6%	10.5%	21.1 10.5	18.4%	23.7%	-5.3 -5.3
(6) 資金繰り	10.5%	15.8%	-5.3 5.2	5.3%	5.3%	0.0 5.2	7.9%	10.5%	-2.6 5.3
(7) 設備操業度	10.5%	10.5%	0.0 -5.3						
(8) 雇用人員	5.3%	5.3%	0.0 10.5	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	2.6%	5.3%	-2.7 7.9
(9) 景 況	10.5%	36.8%	-26.3 5.2	31.6%	10.5%	21.1 21.1	21.1%	23.7%	-2.6 13.2

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	31.6%	-5.3 -10.5	31.6%	21.1%	10.5 26.3	28.9%	26.3%	2.6 7.9
(2) 在庫数量	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	16.7%	0.0%	16.7 8.3	9.7%	12.9%	-3.2 0.0
(3) 販売価格	31.6%	5.3%	26.3 15.8	57.9%	0.0%	57.9 5.3	44.7%	2.6%	42.1 10.5
(4) 取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	0.0%	13.2%	-13.2 -2.6
(5) 収益状況	5.3%	47.4%	-42.1 5.2	21.1%	15.8%	5.3 5.3	13.2%	31.6%	-18.4 5.3
(6) 資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	5.3%	15.8%	-10.5 -5.2	5.3%	15.8%	-10.5 0.0
(7) 設備操業度	0.0%	21.1%	-21.1 5.2						
(8) 雇用人員	10.5%	21.1%	-10.6 20.9	10.5%	10.5%	0.0 -5.3	10.5%	15.8%	-5.3 7.9
(9) 景 況	0.0%	31.6%	-31.6 10.5	21.1%	15.8%	5.3 15.8	10.5%	23.7%	-13.2 13.1

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 電気、LPガス等光熱費の高止まりに苦慮している。鶏卵も高く収益を圧迫している。北米に輸出もしているため、今後関税の影響が必至である。

醤 油⇒ 味噌・醤油ともに大手を中心に値上げが実施され、数量は伸びず様子見の状態が続いている。輸出は米国向けが約35%を占めているが、関税引き上げの影響がどうなるか不透明な状況。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 国内マーケットは相変わらず冷え込んでおり、物流量は回復していない。生産拠点は日本に戻ってきているが、本年より再度海外に目を向けているメーカーが多数存在する。この影響により、国内製造の操業度の低下が懸念される。

ニット製品⇒ 衣料品小売業界におけるトランプ関税の影響は不透明な状況であるが、中国製衣料品が多少でも日本へ振り向けられただけで供給過剰市場への影響は大きく、国内メーカーの打撃は致命的である。

【家具装備品】

⇒ 地域の同業者の閉業が続いている。景気回復には時間を要することが予想される。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比、前年同月比ともに減少、製材品の生産量は横ばい、合板の生産量は前月比で微増となった。令和6年度の新設住宅着工戸数は全国的に3年連続で減少しており、本県も同様の傾向にあり昨年比で10%程度減少となったが、様々なコスト上昇の影響で製材品の動きに停滞感が見受けられる。九州地区では老舗の製材業者の倒産なども相次いでおり、コスト上昇に伴う製品への価格転嫁が難しいことが伺える。プレカット加工の稼働率は前月比55%、前年同月比は40%減少で推移した。

【紙・加工品】

和 紙 ⇒ 円安の影響により原材料等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった。

【印 刷】

⇒ 鳥取県の印刷業界は、美術関連イベントや公共事業案件の影響により、前年同月比で新規受注がやや増加となった。市役所などからの印刷物件も多く、年度末にかけての動きが見られたものの、万博関連の受注は印刷業界にはほとんど波及せず、イベント対応の主力は広告代理店やデザイン会社へと移行している。また、デジタル配信やオンライン広報の加速により、紙媒体の需要は限定的となっており、業界としてもコスト意識と提案力が問われている。加えて、地域の観光や文化施設の整備が進む中、美術館や展示会関連の案件拡大に向けた取り組みが今後の課題となっている。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 3月の生コン出荷量は、前月比で約22%増加、前年同月比で約31%増加

となった。東部地区では3月は前月比、前年同月比ともに100%を上回り、年間を通しては災害復旧工事の影響により前年比131%と好調であった。この影響も徐々に収まっており、長続きはしない見通し。中部地区では前月比が6か月ぶりに100%を上回ったものの、年間を通して低調であり、前年同月比は約93%と厳しい数値となり、今後も低調が続く見通し。西部地区では年度当初は低調であったが、9月より7か月連続で前年同月を上回り、前年比は約107%で着地した。

【金属製品】

金属部品加工⇒ 状況は総じて芳しくなく、特に自動車、半導体に関連したFA装置（ファクトリーオートメーション装置：工場の生産ラインや検査を自動化する機器やシステム）の受注に陰りが見える。3月の売上高は前月比で減少、前年同月比で増加となっている。資金繰りについては悪化しているうえ、価格転嫁が思うように進まず、収益の確保に苦慮している。

鉄骨加工⇒ 3月も不景気感は解消できず、官民ともに見積物件は少ない状況が続いている。昨年の2024年問題の影響で人件費、燃料、輸送コストの高騰状態が続く見通しで、今後も厳しい状況が予想される。県内外の鉄骨製作業者同士が先々の加工依頼をする上での加工単価の表示価格は、お互いの信頼関係を築き上げる努力目標となってきたため、無理な条件での安値受注は各社ともに注視している。

金属熱処理⇒ 3月の受注状況は前月比、前年同月比ともにほぼ同程度であった。基本的に自動車、建機、農業機械等も低迷状態を脱していない。他地域の同業者も同様に受注量が上がらないという情報を得ている。

【電気機械器具】

⇒ 年度末で生産数は増加したが部材不足や人員不足により、生産調整を余儀なくされ効率が上がりまず先行き不透明な状況が続いている。半導体不足が懸念されているうえ、トランプ関税による影響は今後の不安要素となっている。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、前月比では売上高、取扱数量ともに増加している。前年同月比では開場日数が1日少ないことにより取扱数量は減少しているが、売上高は単価の上昇によって増加している。年度を通して、取扱数量は減少しているが、売上高は単価が高止まりしていることによって増加している。鮮魚関係では、前月比では天候の回復により売上高、取扱数量とも大きく増加した。前年同月比では、開場日数が1日少ないことにより、売上高、取扱数量とも減少している。育児介護休業法の改正による、就業規則の見直しを問題視する声が多く上がっている。

中部地区⇒ 官公庁の年度末、新年度への準備等の関係で前月比は売上、収益ともに増加したものの、前年の同月は大きな入替案件と重なったこともあり、例年と比べて売上が高かったため、今年度の比率は売上、収益ともに減少となった。後継者不足も含め、相変わらず人手不足が加速している。事業の継続に悩み、設備投資に二の足を踏む事業者も散見される。

西部地区⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴う

トラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げにより各金融機関の利上げ基調が強まってきており、今後の影響が危惧される。

水産物⇒ 巻き網は小型イワシ中心の水揚げとなり、天候の良い日は日産 1500 t 前後の豊漁となった。陸上の冷蔵庫の処理能力を超える日々もあり、他地域への陸送、漁獲調整のための休漁も数日実施された。近海物は荒天の日が多く、例年春先にみられる刺し網漁は不振でカレイ類の底引き物が中心となった。紅ズワイガニは比較的安定した水揚げが続き、需要下落の要因も少なく高値安定の相場となった。

リサイクル原料⇒ 全体的に古紙発生量の減少が継続している。組合としても何らかの対策を講じる必要がある。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、3月は仕入れ価格の高騰による価格転嫁もあり売上は増加している。送別会シーズンの客足は昨年並みで推移した。桜の開花時期が遅れたこともあり来街者は昨年より減少している。年明けから依然として消費マインドの低下が継続している。物価高騰の影響により飲食、小売は苦戦が続いているものの、観光客の宿泊はインバウンドも含めて増加傾向にある。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、天候の定まらない月となり、旅行者、インバウンド客の来街を期待したもの、桜の開花時期に気温が下がり、人流は停滞し売上にも結びつかなかった。月の後半は3月30日の県立美術館のグランドオープンに向けたカウントダウンイベントが各種実施され、なかでも打吹回廊を出発点とするパレードは大変な賑わいをみせた。倉吉銀座商店街では『商店街美術館』として、アートスタンプラリーを3月30日より9月30日まで実施予定としている。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、卒業シーズンとなる3月は、平日も学生の姿が多く、近隣のライブハウスでは卒業ライブなど学生主体の企画も複数開催された影響で他店舗に流れていく良い動きが見られる日があった。月の後半は春休みもあり、平日でも土日並みの集客となる日も見受けられた。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、2月と比較し好天に恵まれる日が多く、暖かくなってきたことにより観光客が増加した。また、大学が春休みに入ったことで学生を中心とした若い観光客も多く、全体の観光客数が増え、売上も前月比、前年同月比ともに増加した。観光バスは前月比、前年同月比で微増となった。

米子市のホテル・旅館では、売上高は前月比で増加、前年同月比で同水準となった。組合員1社が地域経済活性化支援機構の支援を受けることとなり、皆生温泉の賑わい創出へ期待が持たれる。

三朝温泉では、昨年比で観光客が大きく減少した。月の後半になると家族連れが増え、週末にはイベント利用が多く見受けられた。前月よりインバウンド客が増加している。

羽合温泉では、3月の宿泊は前月比で約2倍、前年同月比で約15%の増加となった。インバウンドが好調に推移しており、3月末の鳥取県立美術館オープンやイベント等が宿泊増加の後押しとなった。

【自動車整備業】

⇒ 3月の新車販売は普通車・軽自動車を合わせて3,187台で前月比は普通車67.2%、軽自動車46.0%で大幅な増加となった。前年同月比は普通車

6.1%、軽自動車16.0%の増加であった。中古車は普通車・軽自動車を含わせて806台で前月比49.0%の大幅な増加、前年同月比では12.8%の減少であった。継続検査(軽自動車を含む)は22,853台で前月比46.8%、前年同月比4.9%の増加であった。新車の需要に供給が追いついたことによる中古車の減少がうかがえる。

【建設業】

⇒ 2月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額50億円(前年同月比42.5%減)、件数67件(前年同月比44.6%減)となった。年度累計(令和6年4月～令和7年2月)は、請負金額884億円(前年同月比0.7%増)、件数1,640件(同3.1%増)。地区別では、東部、八頭地区で増加、中部、西部、日野地区が前年並みとなった(前年同月比)。公共投資は単月では2か月ぶりの前年同月比マイナス、年度累計はプラスを維持した。設備投資、住宅投資共に単月、3か月平均ともに前年同月比マイナスが続いている。資材価格の高騰による民間の建設需要の低迷や、労務費の高騰が足かせとなり、売上、採算の悪化が続いているうえ、トランプ関税で先行きの不透明感が強まっている。

2月の鳥取県新設住宅着工戸数は162戸(持家106戸、貸家56戸)で、前月比23%増加、前年同月比19%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 3月の物流は年度末ということもあり全体の輸送量としては比較的安定した動きとなった。荷物より空いた車両を探す動きが目立ち、ドライバー不足や時間外労働規制を背景に、スポット運賃は高止まりが続いている。売上は前月比では増加、前年同月比では大きな増減は見られなかった。燃料価格や人件費及び車両本体価格などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしており、4月1日より施行される物流改正法に基づく運送・荷役等の効率化に向けた対応に追われることも予想され、今後も厳しい状況に変わりはない。

西部地区⇒ 燃料価格については、ここ半年で1ℓあたり10円近く上昇し、経営環境は大変厳しいものとなっている。また、ドライバー不足においても、県外大手運送業者の進出や、人材売り手市場に伴い好条件企業への転職が散見されている。3月は春の行楽、引っ越しシーズン到来により流通は一時的に活発となったものの、足踏み状態はなお続いている状況であることは否めない。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・印刷業界の持続的発展に向け、デジタルと紙の両面に対応した制作体制構築が必要となっている。行政の支援や補助制度の拡充を望む。【印刷業】
- ・価格転嫁を円滑に進めるための方策、電気料金、ガス料金の値下げを望む。【金属熱処理業】
- ・景気対策として消費税減税、社会保障関連等の負担軽減を図る政策を打ち出して欲しい。【商店街】
- ・商店街の個店では閉店が相次ぎ更地化が進んでいる。資金的な支援、協力を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との 増減幅
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
売 上 高	製 造 業	-5.3	-15.7	-26.3	5.3	10.5	-36.9	42.0	26.3	-10.5	-5.2	-21.0	-5.3	5.2	10.5
	非製造業	57.9	-15.8	15.8	-31.6	15.7	31.5	-47.3	21.0	15.7	-5.3	-36.8	15.8	68.4	10.5
	全 業 種	26.3	-15.8	-5.3	-13.1	13.2	-2.6	-2.6	23.7	2.6	-5.2	-29.0	5.3	36.9	10.6
在庫数量	製 造 業	-10.5	-15.8	10.5	-5.2	21.1	-10.5	5.3	0.0	15.8	-15.8	-10.5	5.3	-21.1	-10.6
	非製造業	8.3	16.7	8.3	-8.3	0.0	16.7	-25.0	0.0	8.4	16.7	-8.4	8.3	25.0	16.7
	全 業 種	-3.2	-3.2	9.7	-6.5	12.9	0.0	-6.4	0.0	12.9	-3.2	-9.6	6.4	-3.2	0.0
販売価格	製 造 業	5.2	0.0	-5.2	0.0	5.2	10.5	10.5	5.3	5.2	-5.2	5.3	10.5	10.5	5.3
	非製造業	0.0	21.1	21.1	15.8	0.0	26.3	5.3	21.0	42.1	36.8	5.3	5.3	10.5	10.5
	全 業 種	2.6	10.6	7.9	7.9	2.6	18.5	7.9	13.2	23.6	15.8	5.2	7.9	10.5	7.9
取引条件	製 造 業	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.2	-10.5	-5.2
	非製造業	5.3	-5.3	-10.5	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	-5.3
	全 業 種	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	0.0	-2.6	-2.6	2.6	2.6	0.0	-2.7	-2.7	-5.3	-5.3
収益状況	製 造 業	-10.6	-21.1	-31.6	0.0	-5.3	-36.8	-15.8	-26.3	-42.1	-21.1	-26.3	-10.6	-31.5	-20.9
	非製造業	31.6	-10.6	-5.3	-21.0	15.8	21.0	21.0	10.5	21.1	-5.3	-15.8	10.6	21.1	-10.5
	全 業 種	10.6	-15.8	-18.4	-10.5	5.3	-7.9	-18.4	-7.9	-10.5	-13.2	-21.0	0.0	-5.3	-15.9
資金繰り	製 造 業	-10.5	-10.5	-10.5	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-21.1	-21.1	-5.3	-10.5	-5.3	5.2
	非製造業	15.8	-5.2	0.0	-15.8	0.0	15.8	-10.5	15.8	15.8	0.0	-21.1	-5.2	0.0	-15.8
	全 業 種	2.6	-7.9	-5.3	-5.2	-5.2	5.3	-7.9	2.7	-2.6	-10.6	-13.1	-7.9	-2.6	-5.2
設備操業度	製 造 業	0.0	-10.6	-10.6	5.3	-5.3	-31.5	0.0	5.3	-5.2	10.6	-31.5	5.3	0.0	0.0
雇用人員	製 造 業	-10.5	-5.3	-5.2	5.3	-5.2	-15.8	-10.5	-5.2	-5.2	-5.2	-21.0	-10.5	0.0	10.5
	非製造業	15.8	5.3	10.5	-10.5	0.0	10.5	-10.5	0.0	5.3	10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-21.1
	全 業 種	2.6	0.0	2.6	-2.6	-2.6	-2.6	-10.6	-2.7	0.0	2.6	-13.2	-10.6	-2.7	-5.3
景 況	製 造 業	-10.5	-15.8	-31.5	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-31.5	-42.1	-31.5	-26.3	-15.8
	非製造業	31.5	0.0	-5.3	-31.5	0.0	0.0	-21.1	0.0	15.8	-5.3	-10.6	0.0	21.1	-10.4
	全 業 種	10.6	-7.9	-18.4	-23.6	-15.0	-13.1	-23.7	-13.1	-10.5	-18.4	-26.3	-15.8	-2.6	-13.2

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
売上高	製造業	-42.1	-47.4	-31.6	-26.3	-26.3	-47.4	-21.1	-10.5	5.2	-15.8	0.0	5.2	-5.3	36.8
	非製造業	-10.5	0.0	-5.2	-31.5	5.2	21.1	5.3	26.3	21.0	5.2	-5.2	-15.8	10.5	21.0
	全業種	-26.3	-23.7	-18.4	-28.9	-10.5	-13.2	-7.9	7.9	13.2	-5.3	-2.6	-5.3	2.6	28.9
在庫数量	製造業	-26.3	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-15.8	-21.0	-15.8	0.0	-10.6	-10.5	-10.5	-15.8	10.5
	非製造業	25.0	0.0	8.3	-8.4	-8.3	25.0	8.3	16.7	25.0	16.7	16.7	8.4	16.7	-8.3
	全業種	-6.4	-6.4	0.0	-3.2	0.0	0.0	-9.6	-3.2	9.7	0.0	0.0	-3.2	-3.2	3.2
販売価格	製造業	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	26.3	15.8	0.0	-5.3	15.8	10.5	26.3	31.6
	非製造業	52.6	47.4	47.4	31.6	26.3	42.1	36.8	42.1	57.9	57.9	63.2	52.6	57.9	5.3
	全業種	23.7	23.7	21.1	13.1	13.1	21.1	31.6	28.9	28.9	26.3	39.5	31.6	42.1	18.4
取引条件	製造業	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-5.3	-5.2	-5.2	-10.5	0.0
	非製造業	-15.8	0.0	-5.3	0.0	-10.5	-5.2	0.0	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	0.0
	全業種	-13.2	-5.3	-10.6	-5.2	-10.6	-7.9	-7.9	-10.6	-2.6	-7.9	-10.5	-10.6	-13.2	0.0
収益状況	製造業	-21.1	-36.9	-42.1	-21.0	-26.3	-42.1	-26.3	-36.9	-26.3	-36.8	-36.8	-47.3	-42.1	-21.0
	非製造業	-10.5	-21.1	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	0.0	5.2	21.1	5.3	-10.5	0.0	5.3	15.8
	全業種	-15.8	-29.0	-36.9	-21.0	-18.4	-18.4	-13.2	-15.8	-2.6	-15.8	-23.6	-23.7	-18.4	-2.6
資金繰り	製造業	-26.3	-31.5	-21.0	-10.5	-10.5	-26.3	-15.8	-10.9	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	15.8
	非製造業	-15.8	-10.5	-31.5	-21.1	-10.5	-10.5	5.3	5.3	10.5	5.3	-15.8	-5.3	-10.5	5.3
	全業種	-21.1	-21.0	-26.3	-15.8	-10.5	-18.4	-5.2	-2.6	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	10.6
設備操業度	製造業	-21.1	-31.5	-26.3	-5.3	-21.0	-31.6	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-26.3	-26.3	-21.1	0.0
雇用人員	製造業	-21.1	-10.5	-15.8	-26.3	-10.6	-15.8	-31.5	-21.1	-21.0	-26.3	-36.8	-31.5	-10.6	10.5
	非製造業	5.2	-5.2	5.2	-15.8	5.2	5.2	5.2	5.3	0.0	5.2	5.2	5.3	0.0	-5.2
	全業種	-7.9	-7.9	-5.3	-21.0	-2.7	-5.3	-13.2	-7.9	-10.5	-10.5	-15.8	-13.2	-5.3	2.6
景況	製造業	-21.1	-36.8	-31.6	-21.1	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-10.5
	非製造業	-21.1	-21.1	-36.8	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	0.0	-5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.3	26.4
	全業種	-21.1	-28.9	-34.2	-26.3	-31.5	-31.6	-21.0	-18.4	-21.1	-15.8	-18.4	-26.3	-13.2	7.9

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 造 業	食料品	1	1	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	1
	木材・木製品	1	1	2	0	4	0	2	2	0	0	2	2	0	1	3	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	1
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	出版・印刷	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1
	化学ゴム																										
業	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	0	1	0	2	0	1	0
	一般機器	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	輸送用機器																										
	その他																										
非 製 造 業	卸売業	19	5	10	4	0	15	4	3	15	1	0	17	2	1	11	7	2	14	3	2	15	2	1	17	1	2
	小売業	100%	26.3%	52.6%	21.1%	0.0%	78.9%	21.1%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%	10.5%	73.7%	15.8%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	10.5%
	商店街		3	3	0	1	5	0	0	5	1	0	6	0	2	4	0	0	6	0				0	6	0	2
	サービス業		0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	1
	建設業		3	1	0	2	2	0	0	4	0	0	4	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	3
	運輸業		5	0	0				2	3	0	0	5	0	4	1	0	1	4	0				0	5	0	4
業	建設業		0	1	0			1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0				0	1	0	1
	運輸業		2	0	0			0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	1
	その他																										
	その他	19	13	6	0	3	8	0	3	15	1	0	19	0	6	11	2	1	17	1				0	18	1	6
	100%	68.4%	31.6%	0.0%	25.0%	66.7%	0.0%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	31.6%	57.9%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%				0.0%	94.7%	5.3%	31.6%	57.9%
	38	18	16	4	3	23	4	6	30	2	0	36	2	7	22	9	3	31	4	2	15	2	1	35	2	8	
100%	47.4%	42.1%	10.5%	9.7%	74.2%	12.9%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	18.4%	57.9%	23.7%	7.9%	81.6%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%	2.6%	92.1%	5.3%	21.1%	55.3%	

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製 造 業	食料品	1	1	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0		
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	1		
	木材・木製品	1	1	2	0	4	0	2	2	0	0	2	2	0	1	3	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	1		
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1		
	出版・印刷	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1		
	化学ゴム																												
業	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	0	1	0	2	0	1	0		
	一般機器	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3		
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1		
	輸送用機器																												
	その他																												
非 製 造 業	卸売業	19	5	10	4	0	15	4	3	15	1	0	17	2	1	11	7	2	14	3	2	15	2	1	17	1	2	10	
	小売業	100%	26.3%	52.6%	21.1%	0.0%	78.9%	21.1%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%	10.5%	73.7%	15.8%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	10.5%	52.6%	36.8%
	商店街		3	3	0	1	5	0	0	5	1	0	6	0	2	4	0	0	6	0				0	6	0	2	4	0
	サービス業		0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	建設業		3	1	0	2	2	0	0	4	0	0	4	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0
	運輸業		5	0	0				2	3	0	0	5	0	4	1	0	1	4	0				0	5	0	4	1	0
業	建設業	0	1	0				1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	運輸業	2	0	0				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	1	1	
	その他																												
	その他	19	13	6	0	3	8	0	3	15	1	0	19	0	6	11	2	1	17	1				0	18	1	6	11	2
業	100%	68.4%	31.6%	0.0%	25.0%	66.7%	0.0%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	31.6%	57.9%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%				0.0%	94.7%	5.3%	31.6%	57.9%	10.5%	
	38	18	16	4	3	23	4	6	30	2	0	36	2	7	22	9	3	31	4	2	15	2	1	35	2	8	21	9	
業	100%	47.4%	42.1%	10.5%	9.7%	74.2%	12.9%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	18.4%	57.9%	23.7%	7.9%	81.6%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%	2.6%	92.1%	5.3%	21.1%	55.3%	23.7%	

情報連絡員報告総括表(令和7年3月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	0	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0
繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1
木材・木製品	1	0	3	1	3	0	2	2	0	0	2	2	0	1	3	0	4	0	0	3	1	0	2	2	0	2	2
紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
鉄鋼・金属	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	2	0	0	0	0	2
一般機器	1	2	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	5	8	6	1	14	4	6	12	1	0	17	2	1	9	9	1	15	3	0	15	4	2	13	4	0	13	6
100%	26.3%	42.1%	31.6%	5.3%	73.7%	21.1%	31.6%	63.2%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	47.4%	47.4%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	78.9%	21.1%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	68.4%	31.6%
卸売業	2	3	1	1	5	0	3	3	0	0	5	1	1	4	1	0	6	0				0	6	0	1	5	0
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	1	3	0	1	3	0	2	2	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	3	1	0	3	1
サービス業	3	1	1				4	1	0	0	3	2	3	2	0	1	3	1				2	3	0	3	2	0
建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
運輸業	0	1	1				1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	6	9	4	2	9	0	11	8	0	0	16	3	4	12	3	1	15	3				2	15	2	4	12	3
100%	31.6%	47.4%	21.1%	16.7%	75.0%	0.0%	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	84.2%	15.8%	21.1%	63.2%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%				10.5%	78.9%	10.5%	21.1%	63.2%	15.8%
38	11	17	10	3	23	4	17	20	1	0	33	5	5	21	12	2	30	6	0	15	4	4	28	6	4	25	9
100%	28.9%	44.7%	26.3%	9.7%	74.2%	12.9%	44.7%	52.6%	2.6%	0.0%	86.8%	13.2%	13.2%	55.3%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	78.9%	21.1%	10.5%	73.7%	15.8%	10.5%	65.8%	23.7%